

残虐！狂宴の館（1980）

HUMAN BEASTS
BESTIAS HUMANAS

メディア 映画

ジャンル ホラー サスペンス

製作国 スペイン／日本

時間 90分

公開情報 劇場未公開・ビデオ発売

【解説】

スペイン怪奇映画の大立者P・ナッチーことハシント・モリナ監督と、日本のホリ企画が合作した奇妙奇天烈なカニバリズム・ホラー。日本人兄妹と組んでダイヤを強奪した殺し屋は組織を裏切ってスペインへ逃亡、二人も跡を追うが、兄は返り討ちにあってしまう。ここまでが全体の1/3。傷ついた殺し屋は山中の屋敷で美人姉妹に介抱され、日本人妹の追跡も迫っていた。これでまた1/3。その間に、正体不明の人物が屋敷に侵入した人間を殺したり、悪夢にうなされる殺し屋の描写が挟まれる。屋敷では客を招いて宴が開かれ（これが狂宴？）、姉妹の片方と仲よくなった殺し屋は人生再スタートとばかりに隠したダイヤを取りに行くが、いつしか気が遠くなり……。いろんな設定やら伏線やらを盛り込んでいるのは判るが、それらがまるで行き当たりばったり展開されるだけの退屈な作品。殺し屋を愛し、彼の子供までみごもってしまう日本人の妹に永島咲子が扮しているが、どう見てもゼイ肉のちょっと取れたジョン・ベルーシのようなP・ナッチーの一体どこに惹かれたのか、それを説明して欲しかった。出番の少ない森次晃嗣はまだ救われたか……。

【クレジット】

監督	ハシント・モリナ	Jacinto Molina
製作	モDESTO・ペレス・レドンド マスラオ・タケダ	Modesto Perez Redondo
製作総指揮	ハシント・モリナ ヒデオ・ササキ	Jacinto Molina
脚本	ハシント・モリナ	Jacinto Molina
撮影	アレハンドロ・ウジョア	Alejandro Ulloa
音楽	カム・エスパーニャ	
出演	ポール・ナッチー 永島咲子 森次晃嗣 ロータロー・ムルア シルヴィア・アグイラー アゼスナ・ヘルナンデス ロザナ・ディブレ ペペ・ルイス ジュリア・サリー	Paul Naschy Silvia Aguilar Julia Saly